

## 会 議 要 旨

会議の名称	令和元年度川越市障害者就労支援センター事業懇話会
開催日時	令和元年8月22日(木) 午後2時00分 開会 ・午後3時45分 閉会
開催場所	川越市障害者就労支援センター2階会議室
議長(委員長・会長)氏名	議長：障害者福祉課長
出席者(委員)氏名(人数)	山田委員、岡田委員、長谷部委員、大畠委員、村上委員、大野委員、齋藤委員、高橋委員、大沼委員 (9人)
欠席者(委員)氏名(人数)	鹿倉委員、鈴木委員、奥田委員、小宅委員 (4名)
事務局職員職氏名	障害者就労支援センター長谷川所長、菱沼主査、野原主査 障害者福祉課 牛窪副主幹
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. あいさつ</li> <li>3. 議題               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成30年度事業報告と令和元年度事業計画</li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> </ol>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・委員名簿</li> <li>・平成30年度事業概要</li> <li>・令和元年度事業計画</li> <li>・障害者の実雇用率状況(厚生労働省、埼玉労働局プレスリリース令和元年6月18日発表)</li> <li>・市町村障害者就労支援センター登録者・就労者数</li> <li>・障害者就業・生活支援センターの登録者・就労者数</li> </ul>

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 平成30年度の事業報告と令和元年度の事業計画について

- ・事務局が平成30年度事業概要及び令和元年度事業計画に基づいて説明を行った。

【委員からの質疑応答及びご意見】

- ・相談についての質問です。働いている人の相談を受けることがあるか。企業から相談があるか。  
→会社訪問の際の働いている人からの相談あります。主に人間関係や体調不良等で仕事に行けないという相談。また、特例子会社などの企業側からの相談を受けることがあります。
- ・人数が少ない中で、相談や定着支援等をよくやってくれていると思う。引き続きお願いしたい。
- ・障害者が市内に就労すると企業側に奨励金が出ていると思うが、雇用されている側にも還元されるとよいと思う。せっかく良い制度があるなら、活用して欲しい。
- ・登録者が減っている理由を教えてください。  
→当センターの支援が必要かどうかの確認のためのアンケートを送付して、不要と回答があった方を抹消させていただいております。順調に就労している方も含まれます。
- ・学校での就職活動について教えてください。  
→学校では、100%の就職を目指しており、実習によって本人の障害特性に仕事が合っているかマッチングを行うように心がけています。就労後の定着支援も行っております。
- ・障害者が働く場所が不足しているように思うがいかがか。  
→雇用率のアップ等の効果があり、障害者雇用を促進している企業が増えてきていると考えています。  
また、来年の障害者雇用に向けて9月に就職面接会を行う予定が、参加企業の件数は増えてきていると実感しています。
- ・特別支援学校卒業後の支援について、保護者亡き後の生活面、就労面について支援が必要だと思う。この施設に行けば、仕事があるといったようなルート（流れ）があれば良いと思う。

(2) その他

事務局から、農業と福祉の連携の事例を提示し、運営企業が雇用促進を支

援しているという説明を行い、意見交換を行った。

**【委員からのご意見】**

- ・市が企業に障害者のリストを渡すことは、個人情報の取り扱いについて問題だと思います。
- ・企業、農業、福祉の新しい試みだと思うが、障害者の雇用のため、障害者が自立した生活ができるのならどんどんアピールして欲しい。ただし、先を見据えたビジョンがしっかりしていないと怖いと思う。
- ・現在、障害者雇用を行っている農家とバッティングはしないか。  
→現在、就労している人が条件が良い企業に流れてしまう可能性は否定できません。
- ・商品ではなく福利厚生で利用されるとしたら、やりがいや生きがいがあるのか、また、障害者本人のモチベーションが保たれるのか不安です。
- ・本人のやりがいを大切にしてほしい。

4 閉会

